

小・中学生が全道大会や気や北海道大会出場、屈足南小学校で第1回土曜授業が開催

新得中の5人が水泳・柔道で全道大会に出場
中体連十勝大会で優秀な成績を収め、全道大会の出場権を獲得した新得中学校の5人が7月22日、役場を訪れ、武田芳秋教育長に全道大会での健闘を誓いました。第37回北海道中学校水泳大会（7月29～31日、帯広市）に出場するのは、駒井杏樹さん（新中3年・100メートルバタフライ、200メートルメドレー）、高野裕くん（同・200メートル自由形、400メートル自由形）、名和真輝くん（同・50メートル自由形、200メートルメドレー）の3人、第44回北海道中学校柔道大会（7



音別ヤングーズに13対2、準決勝で札幌代表の西琴似パンターズに3対2、決勝では日高代表のJBC日高ブレイブと対戦し、0対8で敗退し、惜しくも準優勝でした。



後列左から武田教育長、箕浦くん、水戸部さん、石割校長、前列左から駒井さん、高野くん、名和くん

月30～31日、登別市）に出場するのは、水戸部柚那さん（新中3年・63キロ級）、箕浦翔太くん（同2年・73キロ級）の2人。駒井さんは「最後の中体連なので、決勝に残れるよう頑張りたい」、高野くんは「去年は決勝に残れなかったため、今年も決勝に残りたい」、名和くんは「自己ベストを一秒でも更新できるように頑張りたい」、水戸部さんは「去年は決勝に進めなかったため、今年も決勝まで行けるよう頑張りたい」、箕浦くんは「来年に繋がるような試合ができるように頑張りたい」と意気込みを語りました。

全道大会での成績は、駒井さんが100メートルバタフライで11位、200メートルメドレーで11位、高野くんは200メートル自由形で12位、400メートル自由形で10位、名和くんは50メートル自由形で17位、200メートルメドレーで13位、水戸部さん、箕浦くん共に準決勝で惜しくも敗退し3位でした。

初の土曜授業
屈足南小学校で第1回土曜授業が開催
1年生～3年生は金田ベリー園（金田かつ子代表）を訪れ、育てている果実の話や聞き、それを試食。その後、一人ひとりがカップを持ち、そのカップいっぱい（ハスカップ（全体で2200グラム））を収穫し、学校に戻ってそのうち800グラムを使ってジャム作りを行いました。（余ったものは冷凍保存）
4年生～6年生は、JA青年部の2人（井上和哉さん、平一真さん）から現在生育中の小麦の苗を見せてもらったり、小麦の品種や栽培方法などを学んだ後、パンケーキづくりを行いました。

最後に参加者全員で、作ったパンケーキとジャムの試食をし、児童は「おいしい。おいしい」と言っていて、あつと言つ間に食べ終わっている児童もいました。おかわりがあると知ると我先にとおかわりに向かっていました。



パンケーキとジャムをみんなで試食



パンケーキづくり（4年生～6年生）



ハスカップ収穫（1年生～3年生）

小・中学生が全道大会や北海道大会出場

さまざまなたスポーツで頑張っています！
小・中学生が全道大会や北海道大会出場
屈南小6年生の2人が陸上競技で全道大会出場



大森さん（中）と浪岡くん

第34回北海道小学生陸上競技大会十勝予選会（6月18日、帯広市）でそれぞれの種目で第1位を獲得し、全道大会（7月17～18日、旭川市）の出場権を獲得した屈南小6年生の浪岡大裕くん（大森奈々さんが7月12日、町長室を訪れ、浜田正利町長に全道大会での健闘を誓いました。走高跳びとジャバリックボール競技に出場する浪岡くんは「メダルを取りたい。もし取れなくても自己ベストを出したい」、また、走り幅跳びに出場する大森さんは「自己ベストを伸ばして、入賞できるように頑張りたい」と意気込みを語りました。全道大会での成績は、浪岡くんが走高跳びで1メートル20センチを記録し16位、またジャバリックボールで51メートル52センチを記録し4位でした。大森さんは走高跳びで3メートル74センチを記録し30位でした。



第13回全道少年U-10（10歳以下）サッカー北海道大会十勝地区予選（6月26日、帯広市）でベスト8に入り、北海道大会（7月16～18日、帯広市）の出場権を獲得したしんとくサッカー少年団（北野翔汰主将）の16人が7月12日、町長室を訪れ、浜田正利町長に北海道大会での健闘を誓いました。北野主将は「みんなで協力して点を取り、優勝したい」と力強く意気込みを語りました。北海道大会の成績は、予選リーグで3チーム中2位となり決勝トーナメントに進出しベスト16入りしました。1回戦で今大会3位になった旭川北鎮J.F.Cと対戦し2対3で惜しくも敗退しました。

第17回全国小学生ABCバドミントン大会北海道予選会（6月25～26日、稚内市）に出場した富村牛小4年生の愛澤琉衣さんと同小2年生の愛澤豊季くん姉弟が7月12日、町長室を訪れ、浜田正利町長に北海道大会の結果報告をしました。琉衣さんは小学生B（3、4年生の部）のシングルスに出場し、予選リーグで3位となり決勝トーナメントに進出しましたが、下位トーナメント（各リーグの3、4位）で1位となりました。豊季くんは小学生C（1、2年生の部）のシングルスに出場し、予選リーグで2位となり、決勝トーナメントに進出。惜しくも1回戦で破れ、ベスト8でした。琉衣さんは「敗戦を乗り越えることができて嬉しかった」、豊季くんは「強い人とお話して、強い打球を返すことができた」とベスト8に入れたのが嬉しかったと話していました。



琉衣さん（左）と弟の豊季くん

野球少年団が全道少年野球大会に出場

第45回全道少年野球大会十勝支部予選（7月2～3日・9日、新得町・帯広市ほか）で6試合を勝ち抜き見事優勝し、全道大会（7月29～8月3日、札幌市）の出場権を獲得した新得町野球少年団（五十嵐翼主将）の18人が7月20日、役場を訪れ、浜田正利町長に全道大会での健闘を誓いました。五十嵐主将は「新得らしく元気よく声を出し、相手にプレッシャーをかけながら、一本のヒットで足を絡めて点を取りにいきたい。優勝したい」と力強く意気込みを語りました。

全道大会での成績は、1回戦で南空知代表の三川フェニックスに7対0、2回戦で旭川代表の当麻野球少年団に4対0、準々決勝で釧路代表の

逃しましたが、下位トーナメントで2位になりました。